

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2023 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡山平田 校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			ご利用者の特性に合わせて支援スペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1		パーテーションで区切って構造化をはかっています。お手洗いには、踏み台や補助便座を用意して全ての年代で使用できるようにしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3			共通理解する場を設け意見交換をしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			保護者アンケートをもとに改善計画を立て、実施していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		1	ホームページで公開していますが、公開していることを周知していく必要がある。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3		2	必要に応じて検討・実施していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			会社独自の研修や発達支援研究所の研修に参加し資質の向上に取り組んでいる。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			見学時にシートへと聞き取りにてアセスメントを行い、体験時にお子様を見たうえで作成を行っている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			共通のアセスメントシートを用いて行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			意見交換をしながら立案をしている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			支援の振り返りと固定化にならないように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			療育時間に変化がないため、課題の設定も応じて変化させることはない。課題の見直しは常に行うようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			小集団での活動機会は今後検討していく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			情報共有を行い、連携の確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			職員間で時間を作り話すようにしている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			支援記録を作成し、支援の検証や改善を行っている。支援教材など職員間で共有をおこなっている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			日々の支援の振り返りに加え、定期的にモニタリングを実施し、見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5			利用者の様子や要望に合わせて組み合わせた内容で支援を行うようにしている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			管理者や児発管・職員が参加するようにしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			十分でないこともあるため、継続的な連携の機会を設けていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3		該当者を受け入れた場合、連携していきたい。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5			十分でないこともあるため、継続的な連携の機会を設けていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	1	2	該当者が出た場合、連携していきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		2	3	十分でないこともあるため、継続的な連携の機会を設けていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	機会を設定するかどうかも含め協議していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	2		会議や部会参加したりして活動を行っている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			日々の振り返りで共通理解が図れるように努めている。
保護者への説	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	2	家族支援プログラムを実施できる知識を持つように研修などを行っている。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			契約時に説明を行うようにしている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			プラン更新時にお伺いしている。日々の振り返りやモニタリング時に実施している。

明 責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	3	現在まで実施していないため、今後の開催について協議していく。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			相談日を提案し迅速に対応するように努めている。
非 常 時 等 の 対 応	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		ブログでの発信を行っている。発信していることを周知していく。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			施錠できる場所に保管・管理している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			お子様・保護者様一人ひとりに寄り添うスタンスのもと支援させていただき、困りごとを開けるよう常に心がけている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1		4	地域の方が参加できるイベントは実施できていない。今後の開催についての協議を行っていく。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5			年に1回はきりり全体で研修を行い、感染症対応については、実践も交えて行っている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			月に一度いろんな災害を想定し避難訓練を行っています。また、年に1回は通所されている利用者の方もご参加いただき、誘導から避難までを行っております。報告書も掲示している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			定期的に研修を実施し意識づけを行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			運営規定や重要事項説明書、支援計画にも明記し周知するとともに、社内では定期的に研修を行い共通理解に努めている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	1	食事の提供は行っていません。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			職員が発生時に報告書を作成している。事業所内で共有し安心・安全に運営できるよう努めて参ります。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡山平田 校

保護者等数（児童数）： 51 回収数： 36 割合：

70.5 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	3		ワンフロアですが、パーテーションで区切って支援スペースを確保している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	3		
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	16	4	施設環境面で改良すべき点が発生した場合にはその都度対応させていただきます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	36			お子様一人ひとりに合わせた対応、支援をしていきます。
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	36			お子様の興味がある教材を用意していただき感謝しています。楽しく通っていただけるよう教材を工夫していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	14	15	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	36			丁寧な説明がありました。今後も何かあればご相談ください。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	36			共通理解の上で支援が進められるようにしていきます。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	33	3		気になる事があればご相談ください。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	17	14	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	28	8		苦情があった場合に迅速かつ適切に対応させていただきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	36			情報共有を徹底していきます。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14	18	4	会報はしていません。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	31	5		施錠できる場所に保管・管理している。個人情報の保守を徹底していく。

非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	30	6		アルコール消毒、検温など行い感染症対策を徹底している。その他密閉空間を回避するため十分な換気をしている。各マニュアルは待機スペースに掲示している。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	16		防災訓練報告書を掲示しています。毎月1度、防災訓練を実施しています。皆様に認識していただけるように努めます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	35		1	勉強だけでなく、先生方との会話など楽しみにしています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	35	1		お迎えに行ってもなかなか帰りたくないようで楽しんでいる様子です。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。